

高梁市地域公共交通再編実施計画(平成 28 年 6 月策定)による事業実施状況

項 目	事業の効果	網形成計画での目標における位置付け	実施状況・効果
<p>交通拠点を結ぶバス路線の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高梁駅～芳井～井原線の廃止 ・地頭～古町～高梁駅線の増便 	<p>○低利用路線に投入されていた交通資源を高利用路線に投入することによるバス利用者の増加と、運行の効率化による収支率の改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶日輸送量：25.7 人から 28.4 人へ 2.7 人（11%）増 ▶収支率：43.1%から 48.9% へ 5.8 ポイント改善 <p>○JRとの接続性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶通勤通学時間帯に合わせて地頭発 7 時台、高梁駅発 17 時台の便を各 1 便増 ▶市内から岡山方面へ JR で通学する高校生が利用する列車（岡山 18：45 発→高梁 19：50 着）に接続する高梁駅発の便を新たに設け、帰宅時の交通手段を拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用者数 ・公共交通に対する人口一人あたりの財政負担額 ・高校生のうちバスで通学する生徒の割合 	<p>○平成 28 年 12 月実施</p> <p>事業主体：備北バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高梁駅～芳井～井原線 地頭～井原間の平日 2 往復 4 便を廃止。 ・地頭～古町～高梁駅線 平日運行便数を 19 便 9.5 往復から 23 便 11.5 往復へ増便。 <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性は向上したものの、平成 30 年度において、財政負担額は上昇傾向が続いている。 ・高校生のバス通学は市全体では 20% 台で推移している。 <p>※高校生バス通学費補助金の活用</p>

項 目	事業の効果	網形成計画での目標における位置付け	実施状況・効果
<p>中心市街地バス路線の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地頭～古町～高梁駅の増便 ・高梁駅～榑井～一の瀬系統の廃止 ・高梁駅～吉備国際大学前～高梁駅線の増便 <p>※バスセンター完成に伴う運行ルートの一部変更</p>	<p>○低利用路線に投入されていた交通資源を高利用路線に投入することによるバス利用者の増加と、運行の効率化による収支率の改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日輸送量：17.8人から19.4人に1.6人（9%）増 ➢ 収支率：72.9%から81.9%へ9.0ポイント改善 <p>○中心市街地での移動性とJRとの接続性の向上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日曜・祝日にも運行（4便/日）し、近年著しい増加が見られる観光客の中心市街地での移動手段を確保するとともに、土日祝日に慢性的に不足するタクシーを補完。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環線の利用者数 ・公共交通に対する人口一人あたりの財政負担額 	<p>○平成29年2月実施</p> <p>事業主体：備北バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地頭～古町～高梁駅線 平日運行便数を26便13往復に増便。 ・高梁駅～榑井～一の瀬系統 平日2便1往復を廃止。 ・高梁駅～吉備国前～高梁駅線 日曜・祝日を加え、毎日運行とする。 <p>※バスセンター完成に伴う運行ルートの一部変更を実施。</p> <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性は向上したものの、平成30年度において、利用者数は減少。また財政負担額も上昇傾向が続いている。
<p>松原地域の路線再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣山～井谷～高梁駅線の路線延長 	<p>延長区間沿線住民の利便性の向上と利用促進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 延長予定区間沿線の陣山線利用者12人、潜在的利用者15人（松原地域高齢者移動実態調査） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用者数 ・公共交通空白地域の居住人口割合 	<p>○平成29年2月実施</p> <p>事業主体：備北バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣山～井谷～高梁駅線 大西地区を経由する周回ルートを新設。 <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地域の解消 ・利便性の向上

項 目	事業の効果	網形成計画での目標における位置付け	実施状況・効果									
<p>松原地域乗合タクシーの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> 松原東地区乗合タクシーの運行 松原西北地区乗合タクシーの運行 松原西南地区乗合タクシーの運行 	<p>松原地域の交通空白地域における高齢者等の市街地への通院・買物移動負担を軽減。</p> <ul style="list-style-type: none"> 松原地域の交通空白地域（陣山線から400m圏外地域、対象地域人口420人）の解消 総人口に占める交通空白地域人口割合は、18.5%から17.3%へ1.2ポイント改善 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通空白地域の居住人口割合 公共交通の利用者数 	<p>○平成28年10月実施</p> <p>事業主体：高梁市、ピオーネ交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 松原町を3地区に分け、それぞれ週1日(2便)を運行 松原東地区には落合町原田地区を含む。 運賃は1乗車 地域内400円、中心市街地700円 <p>[検証]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通空白地域の解消 利用者数 <table border="1" data-bbox="1541 783 2018 932"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>124人</td> <td>205人</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td>1.59人/便</td> <td>1.65人/便</td> <td>1.78人/便</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H28は6ヵ月間の数値</p>	H28	H29	H30	124人	205人	249人	1.59人/便	1.65人/便	1.78人/便
H28	H29	H30										
124人	205人	249人										
1.59人/便	1.65人/便	1.78人/便										